

# 元気UP通信

厚木市立荻野中学校  
心の教室  
平成30年7月

## 7月の開室日

○：開室日 SC：市川さん

月	火	水	木	金	土	日
2 ○	3	4 ○	5 SC	6 ○	7	1.8
9	10	11	12 SC	13 ○	14	15
16	17	18 ○	19 SC	20 ○	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	8/29 ○	8/30	8/31 ○	9/1	9/2

「ブエノスディアス」に  
笑顔で答えし少年の祖国ペルーの  
一勝を祝う  
(サッカーW杯)

吉岡

数年前に心の教室に来ている生徒の中に、世界の有名なサッカー選手や歴代の名試合にとっても詳しい男子生徒がいて、ある時期、毎日のようにサッカーについて話をしてくれました。例えば、心の教室にあるビー玉と折り紙の立体を使って、誰それが出したボールを、誰それが素早いドリブルでディフェンスをかわして蹴ったのがゴールを決めたという風に、何年の何の大会のどこどこの試合でどういう選手がどんなふう動いてと具体的に話をしてくれました。私は「T君のサッカー教室」と呼んで熱心に受講しました。今行われているサッカーワールドカップの試合を毎日楽しくテレビ観戦できるのは、この「サッカー教室」のおかげだと思います。クリスティアナロナウドの名前は何回聞かされたかわかりません。試合を見ていると、さすがにうまいなあと驚きました。しかし、日本の選手の活躍も素晴らしく今後の試合が楽しみです。これまで輝かしい実績のある国でも簡単には勝てないスポーツだということも分かり見ているとハラハラします。そのような中で、特に心を動かされた国がペルーです。38年ぶりのワールドカップ出場、40年ぶりの勝利など、歴史的な背景もありますが、ペルーの選手を見るとかつて勤めていた中学校に来日したペルーの少年を思い出して応援せずにはいられなくなりました。言葉がわからずにふさがちな少年でしたが、あるとき、ペルーのことばで「ブエノスディアス（おはよう）」とあいさつしたところ、一瞬驚いた後、にっこり笑って「ブエノスディアス」と挨拶を返してくれました。ペルーは1, 2戦負けましたが3戦目は選手、サポーターが最後まで諦めずひたむきに戦い見事に勝利しました。私は心の中であの時のペルーから来た少年に「おめでとう！」とつぶやきました。